

山 事 研 會 報

山梨学校事務研究会 編集発行人 調査広報部

第14号 平成19年 9月14日 発行



平成19年度 第2回研修会 開催

第2回研修会が南都留学校事務研究会との共催で8月3日に富士吉田市の南都留教育会館において57名の会員が参加し、有意義な研修が開催されました。

「互助組合の業務内容」について

山梨県教職員互助組合専務理事 幡野 勝彦 様

今回の研修では主に福利厚生制度の地方公務員法第42条に基づき地方公共団体が実施しなければならない職員への義務規程である保健、元気回復、その他の事業について実施状況を含めてお話をいただきました。会場からの元気回復事業について要望に対しても意向を十分に把握し計画を立案していきたいとのことでした。

「税の基礎知識、所得税、税制度改正」について

大月税務署国税調査官 須藤清文 様

私たちの暮らしに関わる税情報について資料をもとに解りやすくまた具体的事例をもとに説明していただきました。

国税庁では税に関するさまざまな情報をホームページで発信しています。
また、申告や納税等をサポートも提供しています。

アドレスはこちら <http://www.nat.go.jp>

確定申告書等作成コーナーを利用すれば直接電子確定できる **e-Tax** 用の申告データ

作成できます。電子申告により所得税の確定申告書を提出する際、本人の電子署名及電子証明書を併せて送信した場合に、所得税額から**5,000円**（その年分の所得税額限度）を控除（平成19年分又は平成20年分いずれか1回）できます。

詳しくは、**e-Tax** ホームページをご覧ください。

アドレスはこちら <http://www.e-tax.nat.go.jp>

『ひとロメモ』

確定申告は5年遡ることができますよ！



第39回

全国公立小中学校事務研究大会 愛知大会

大会テーマ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

－ 新たなステージ・一歩前へ －

特集テーマ － ネットワーク社会における学校経営と学校事務 －



詳しくはこちら→<http://www.aichitaikai.jp/>

★愛知大会を通して 敷島北小学校 志村 秀樹

全国大会には、今回の愛知大会で8回目の参加となりました。以前は、事務職員としての個々の力量をあげることが、求められており、それに伴った研究が多かったことを記憶しています。現在では、学校事務の共同実施が中心となって研究等が進められています。全国では多くの県で共同実施が行われており、それに向けて様々な取り組みが実施されていることが、よくわかりました。また、他県からの参加の事務職員と話をすることで、情報交換ができ、有意義な全国大会参加となりました。

本部研究分科会 「ネットワーク社会における学校経営と学校事務」
(全事研本部) － ネットワークを活かし内外をつなぎ広げる事務職員の役割 －

★本部研究分科会(全事研本部)に参加して 河口湖南中学校 小野淳子

ネットワークを活用して自律分権型学校経営を支える学校事務の機能と事務職員の役割について研究・提起されました。その中で、学校が自ら地域へ開き、地域にある様々な経営資源を教育活動に反映させていくことや、地域とともに手を取り合って子どもたちのために教育を創造していくこと、そして、そこに学校情報マネジメントや学校財務マネジメントを通して学校経営を担い、地域との架け橋・ハブの役割を果たす、地域に根ざした事務職員の実践が報告されました。『学校の内外をつなぎ広げる事務職員として、まず何ができるか。』大きな宿題を持ち帰った大会でした。

第1分科会 「変わる学校 変える私たち」
(茨城支部) － 教育活動を支える学校事務組織をめざして －

★第1分科会に参加して(茨城支部) 白根御勅使中学校 清水 武

同じ関東と言うことで、参加させていただきました。研究は「変わる学校変える私たち」－教育活動を支える学校事務組織をめざして－でした。

教育改革プログラムの目指すところは、“信頼”の再生と“関係”の構築であることを前提に分科会が行われ、世代を担っていく子どもたち一人ひとりの育ちに係わる学校事務と考え、学校組織の成員として、柔軟で個性的な新しい学校づくりに向け、学校事務職員としての専門的視点と確かなビジョンを持ち、学校教育目標を活動・展開していく組織体制の中における位置や役割について考えて行こうという研究でした。

山梨県も全事務職員で職務内容や研修システムの課題を研究し、多くの事務職員が学校経営に参画できる体制をとらなければならないと感じました。そのためには、教育目標の具現化のために、広い視野を持って学校事務を処理していくことが学校経営参画だと思います。

また、関ブロを控えているので、各係や会場準備等も参考になるように見えました。

第2分科会 「みつけよう!たからもの みがこう!アピール力 つなごう!ネットワーク」
(新潟支部) － 参画と協働で 学校と地域を紡ぐ －

第3分科会 「スタア誕生」
(静岡支部) - 21世紀の学校事務デザイン なりたい自分、見つけた! -

★第3分科会(静岡支部)に参加して 市川小学校 原川文字

「なりたい自分」のネーミングに惹かれてこの分科会としました。構成がすばらしく、テンポも良く、もちろん内容も良く、隣県であることにちょっと悔しさを感じました。

発表では、新しい学校への転換には「スクールマネージャー」として経営機能を高める役割が求められるとし、①スペシャリティ②統括能力③コミュニケーション能力④意志決定能力⑤人間性の5つの資質をあげていました。聞きながら、一人が5つをすべて備える必要はなく(もちろんそれが目標ではあるけれど)、共同実施等の場で個々が力を出し合うことが大切ではないかと思いました。「なりたい自分」は何なのか、「自分が理想とする事務職員像」とは何なのか、一人ひとりが自分自身の軸で判断しスタートすることが重要だと考えさせられました。

★第3分科会(静岡支部)に参加して 岩手小学校 池田はるな

「スタア誕生」-21世紀の学校事務デザインなりたい自分、見つけた! -静岡支部では新しい活動指針としての、21世紀の学校事務デザイン『しずおかコスモスプラン』が策定されるまでの経過をドキュメンタリーで発表、事務職員の悩みを『おもいっきり生電話』で解決、そして休憩時間には700名を超える参加者も一体になってストレッチでリラックス…など、様々な創意工夫に溢れた分科会でした。

「コスモス」=COSMOSとは コ…子どもたちを ス…すこやかに
モ…もつとすてきな事務職員に ス…ステップアップ
をイメージしたものです。

★第3分科会(静岡支部)に参加して 新紺屋小学校 由井瑠美

会場に入って“ここ本当に分科会会場なの?”と疑いました。舞台がセットされ、マジックショーをしていたのです。同じような発表形式の分科会にも参加したことがありますが、また違う感じのもって行き方で“こういう見せ方もあるのか!”と発見があった分科会でした。見ているほうを厭させない、楽しみながら理解できるということが記憶に定着されるには必要なことだそうなので、そういう意味でもとても良い勉強になった分科会でした。また、自分は未来にどのような学校事務職員になりたいのか、自分のこれからのビジョンを考えさせられました。

第4分科会 「生き生き学校事務構想」
(岐阜支部) - 課題別マニュアル実践から評価に向けて -

第5分科会 「スタートはここから~毎日が共同実施~」
(三重支部) - コペルニクスの転換から6年目。ここまで走ってきました。そして、これからも… -

★第5分科会(三重支部)に参加して 須玉小学校 佐藤 朝幸

名古屋市の猛暑の中、前日24日の定期総会から4日間における参加をしてきました。参加者数も3,903名との報告もあり、新潟中越沖地震被害地域でありながらも参加して全体会での実践報告をするなど、全国の事務職員皆さんの頑張りや、大会中の新潟中越沖地震への多額な義捐金等、皆さんの協力のもとに行われた良い大会であったことを感じました。

第5分科会での共同実施については、10校以下のグループや週1回程度の集まり等が多く、小規模での効率的な実践状況を伺うことができました。

★第5分科会(三重支部)に参加して 初狩小学校 内田ひさみ

今年度、自己観察書の研修計画を 目標:共同実施を実践する。 計画:全国公立小中学校事務研究大会に参加して各地域の共同実施の実践を学ぶ。 としたこともあり、全事研愛知大会に「職免」をいただき参加させていただきました。7月27日の第5分科会「ここからがスタート・毎日が共同実施」のみの参加でしたが全県実施の地域における「共同実施」のスタートラインは既にここまで来ているのかなど実感させられました。これからも機会がありましたら、全事研の研究会に参加させていただきたいと思います。

第6分科会
(愛知支部)

「地域と学校をつなぐ新たな学校事務の確立」

－ パートナーシップでつくる開かれた学校と学校事務の高度化を目指して －

愛知大会
参加者



※ 感想をお寄せくださいました先生方、お忙しい中ありがとうございました。ご協力に感謝いたします。

